



平成 28 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 岩 崎 電 気 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 伊 藤 義 剛
(コード番号 6924)

問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 加 藤 昌 範
TEL 03-5847-8611

中期経営計画（2016 年 4 月～2019 年 3 月）の策定について

当社は、この度、平成 31 年（2019 年）3 月期を最終年度とする 3 か年の中期経営計画を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

Milestone to MIRAI

中期経営計画 2016年4月~2019年3月

2016年5月10日

岩崎電気株式会社

1. 中期経営計画 基本方針
2. 事業別重点戦略
3. 機能戦略
4. 経営数値目標

1. 中期経営計画 基本方針

Milestone to MIRAI

コーポレート
スローガン

「新たな光で未来を照らす。」

企業理念

「光テクノロジーを通して
豊かな社会と環境を創造する」

中期経営計画
基本方針

- ① 屋外照明・産業照明分野のトップメーカーであり続ける。
- ② 新技術で「環境負荷低減」を実現するイノベータティブ企業となる。
- ③ IoT技術を通して社会基盤をサポートする企業を目指す。

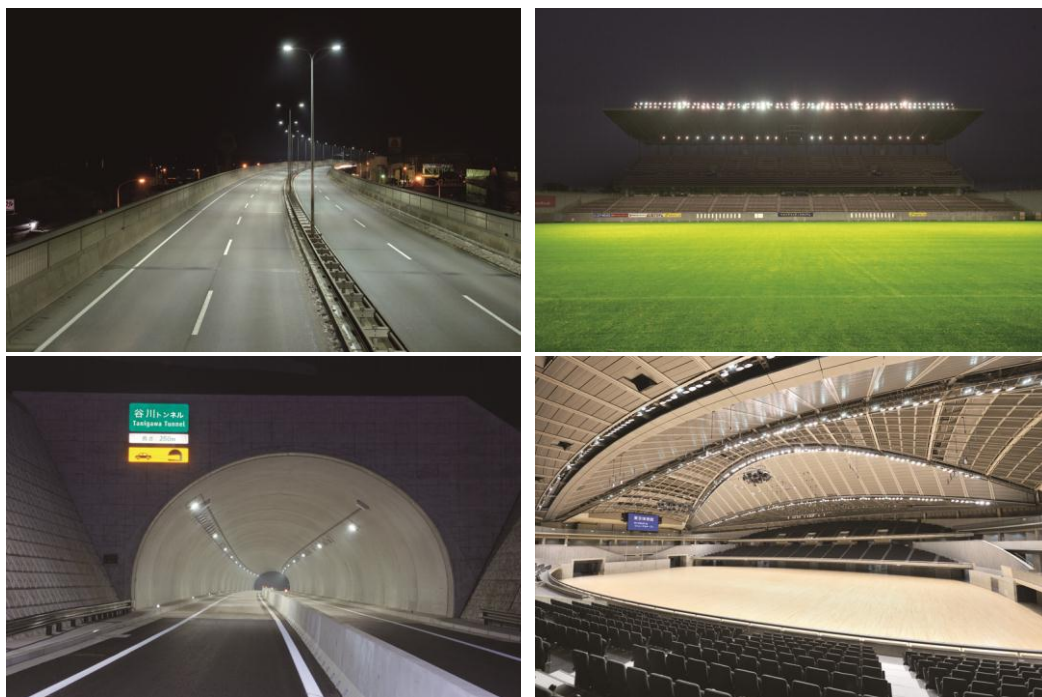
<全社重点事業戦略>

- ① 付加価値を追求したLED照明事業の拡大
- ② 光・環境事業における新規分野への展開
- ③ 海外重点地域への戦略的商品投入による事業の推進

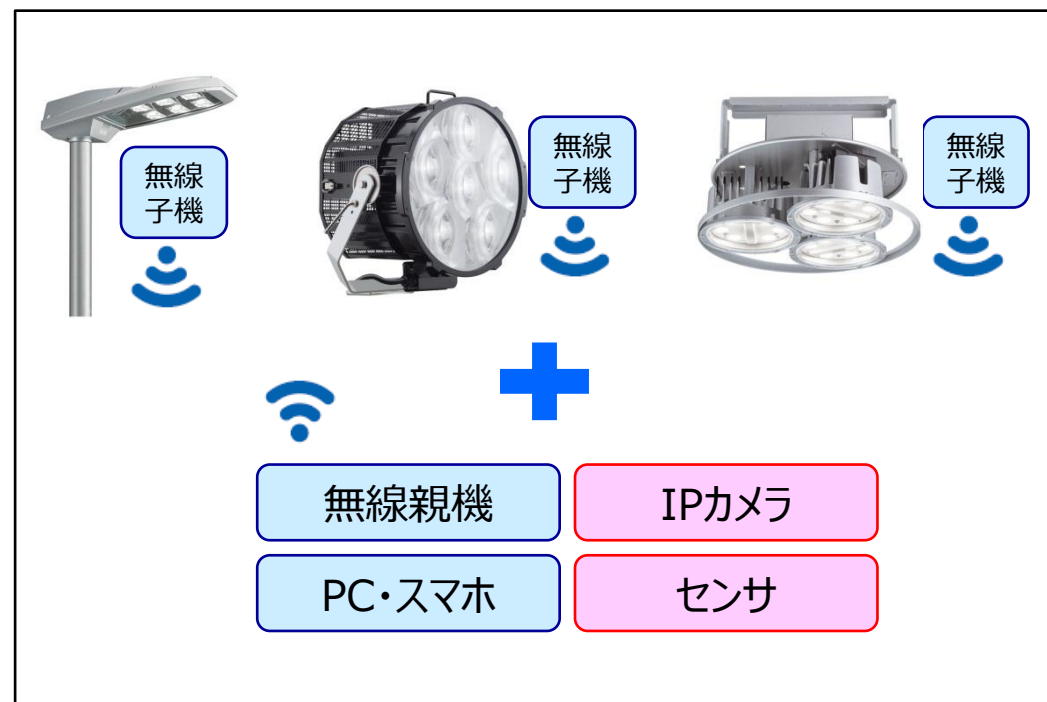
1. 中期経営計画 基本方針①

① 屋外照明・産業照明分野のトップメーカーであり続ける。

- 屋外照明、スポーツ施設照明といった社会インフラや、工場照明、特殊照明といった産業分野における照明の取り組みを強化する。
- LED照明を更に進化させ、通信制御照明器具開発を重点的に推進する。



道路照明、スポーツ施設照明など、インフラ整備に貢献する技術の提案。



LED照明の特性を最大限引き出す制御システムの開発推進。

1. 中期経営計画 基本方針②

② 新技術で「環境負荷低減」を実現するイノベティブ企業となる。

- 従来光源を使った「光の応用」のみならず、EBやレーザー光などを使った応用商品で「環境負荷低減」に向けた事業展開を推進する。
- 殺菌・滅菌、環境試験機、UVキュア、自動車産業関連、医療・健康、特殊環境における画像処理などの分野において、「光 + α (アルファ)」でのソリューションを推進する。

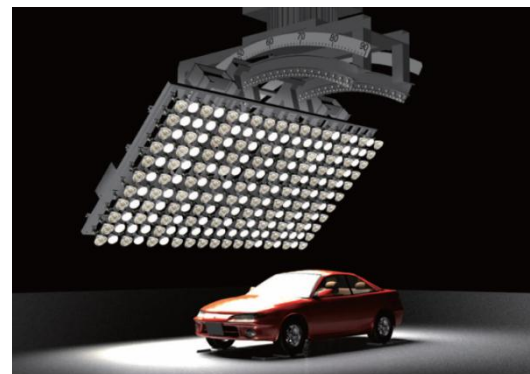
「光・環境」の重点事業



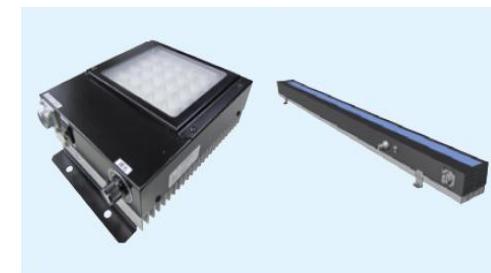
環境試験装置



殺菌・滅菌



特殊照明



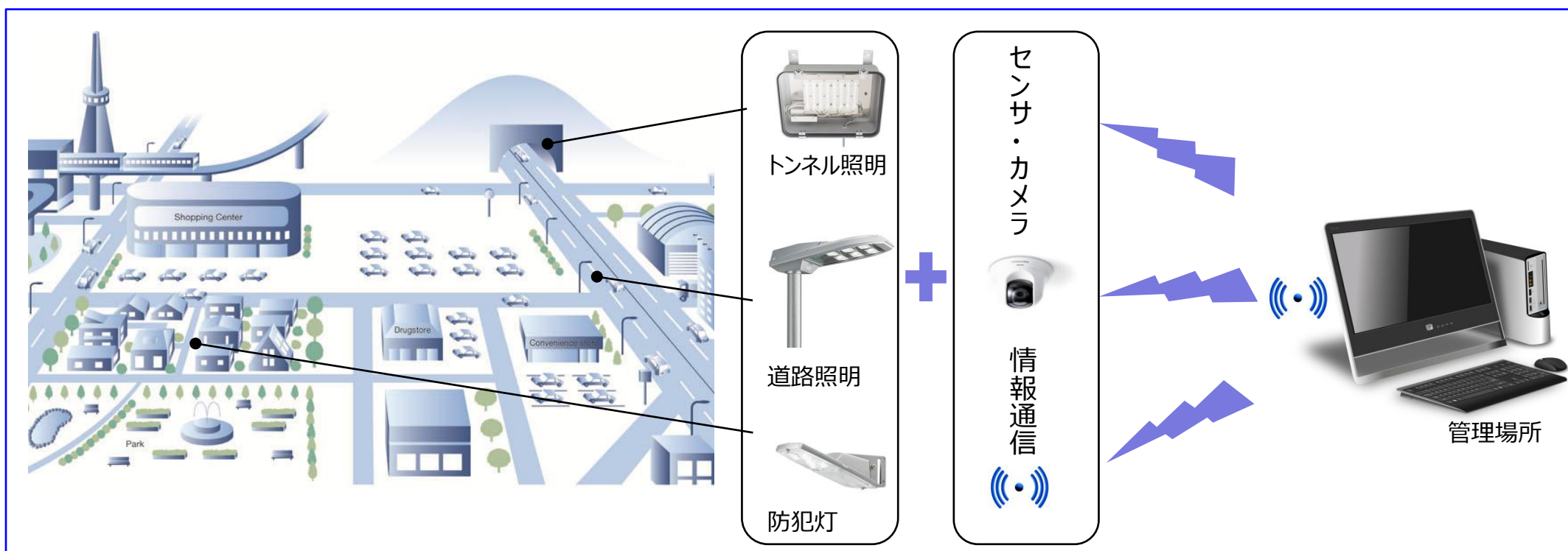
UV-LED照射装置

「光・環境」の各重点事業において、様々な「光」と新技術を融合することで、省エネや環境負荷を低減できる技術、システムの確立を図る。

1. 中期経営計画 基本方針③

③ IoT技術を通して社会基盤をサポートする企業を目指す。

- 既設の照明インフラを活用し、「ものづくり」から「サービス」で付加価値を提供できる事業領域を視野に入れた研究開発に注力する。



照明機器開発技術、照明制御技術と、センサ、カメラ、情報通信技術等のIoT関連技術を融合し、設備の省電力化、設備管理の省力化、エリアの安全性、快適性を実現するシステムの研究開発を行う。

2. 事業別重点戦略 ①照明事業

Milestone to MIRAI

屋外照明・高天井・特殊照明分野でのシェアの維持拡大

- ◆ オリンピック、パラリンピック関連施設、関連インフラ整備に対する的確な技術提案の実践。
- ◆ 得意分野を堅持しつつ、新規チャネル、新規販売ルートを構築。



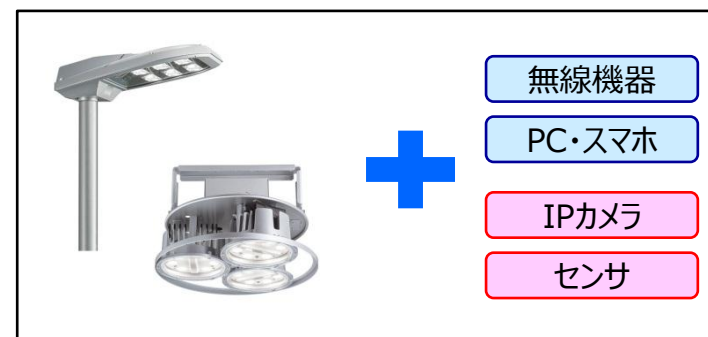
海外照明事業の開拓・深耕

- ◆ 事業展開エリアを明確にし、現地法人での集中営業展開。EYEグループとしての市場開拓、深耕。



新たな技術の確立による成長

- ◆ 保有技術とIoT通信制御技術を通して新たな技術提案・ソリューションを実現。



2. 事業別重点戦略 ②光・環境事業

Milestone to MIRAI

環境試験関連分野の深耕

- ◆ 新耐候（光）性試験装置及び光照射システムの市場訴求。



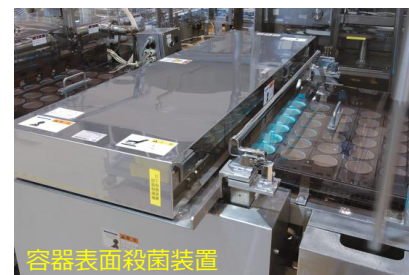
耐候性試験装置



光照射環境試験装置

殺菌・滅菌・水処理関連事業の拡大

- ◆ 殺菌システム全体としての対応力を強化し、安全・安心・環境負荷低減のソリューション提案を実践。



容器表面殺菌装置



流水殺菌装置

UVキュア事業の強化

- ◆ 印刷機器向けUV装置のフィールド（エリア）の拡大。



UV照射器[e-cure]



[e-cure]電源装置

道路情報板・TN防災事業の維持拡大

- ◆ 全国を網羅する営業拠点をフルに活用し、きめ細かい営業展開を実践。



道路情報表示板



表示板 主制御機

3. 機能戦略

生産・調達

◆ ものづくりにおけるバリューチェーンの強化・再構築

- IoT化で求められる商品の多機能化への対応
⇒ 垂直統合型（摺合わせ技術）型から、水平統合（組み合わせ技術）型のものづくりへ。
- 力強いバリューチェーンを再構築し、「調達力」を強化。

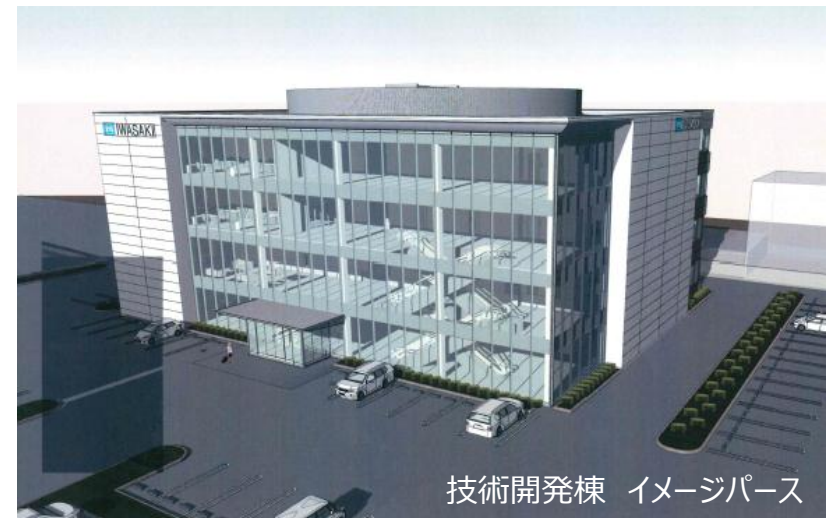
◆ 資産のアセットライト化

- 製造設備の統廃合（ファブライト化）を加速。
- 生産革新活動の推進強化、多種多様な生産形態を実践。

設備投資

◆ 技術開発棟（テクノセンター）の新設

- 研究開発・技術部門を集約
⇒ 技術のシナジー効果と、開発効率のさらなる向上。
- 分析計測器、環境試験装置、試作加工設備の導入
⇒ より高品質で高付加価値商品の開発を推進。



技術開発棟 イメージパース

成長戦略

- ◆ アライアンスの強化
 - 保有技術と新技術を組み合わせた新たな事業展開の足掛かり。
- ◆ M&A
 - 新規事業展開の一手段として継続的に検討。

組織・人材育成

- ◆ タスクフォース、プロジェクトチームの活用
 - 経営課題にスピード感をもって対処するための機動的な組織及び専門チームの編成。
- ◆ グローバル感覚を持った人材の育成
 - 海外事業展開のための人材育成。
- ◆ 多角的視点で物事を捉えられる人材の育成
 - 次世代を担う人材育成と人事教育制度の整備。
- ◆ 新しい発想とチャレンジできる組織
 - 中堅、若手から活発に提案が出る企業風土の醸成。

4. 経営数値目標

「Milestone to MIRAI」中期経営計画 経営数値目標

項目	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	項目	2019年 3月期
売上高 (億円)	533	521	570	595	582	売上伸長率	年平均4%以上
営業利益率 (%)	2.7	1.7	4.3	5.1	3.6	営業利益率	5%以上
自己資本比率 (%)	31.7	34.1	32.3	36.8	35.5	自己資本比率	40%以上
自己資本利益率 (%)	2.2	2.3	6.8	9.9	3.6	自己資本利益率	8%以上
海外売上比率 (%)	16.9	16.8	16.8	19.5	18.8	海外売上比率	25%以上 (2020年3月期)

為替(円)	
USD	115
SGD	83
元	17.5
ポンド	175

<将来見通しに関する注意事項>

本資料に記載しています岩崎電気株式会社の現在の計画、戦略、見通し、業績予想などのうち、過去、または現在の事実に関するもの以外は将来予測に関する記述に該当いたします。
これらは、現在における入手可能な情報を元にした当社の仮定及び判断によるものであり、潜在的リスク及び不確実な要因の影響を受け、実際の業績が記載している内容と大きく乖離する場合がありますことをご承知おきください。